

広報 ふじかわ

6 月 号

昭和50年 6 月10日発行

No. 174

町 の メ モ

昭和50年 5 月 1 日現在

人 口	16,358人
増 減	+ 40人
男	8,088人
女	8,270人
世帯数	3,905世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 企画課



じゃんけんぽん！

楽しかった身障者スポーツ大会

日ごろスポーツを楽しむ機会のない体の不自由な人たちが、自ら進んでスポーツ大会に参加して、体力の増強をはかる——と第十回郡身障者スポーツ大会が、五月十八日蒲原西小学校体育館で開かれました。

当町から、車椅子や仲間に手を引かれた人たちが三十人が参加。三町合わせて約百人の身体障害者と家族や役員百人が会場に集合。

ゲームは、障害区分別にやさしい種目から家族一緒にできるレクリエーション種目まであり、紅白玉入れ、風船リレー、立幅跳、順送球、ストレス解消ゲームと、一人何種目にも出場し、笑いと拍手につつまれた体育館は、楽しさでいっぱいでした。

成績は、当町が毎年最下位の壁を破り、緊迫した優勝争いの末二位になりました。

町身障者福祉会会長田中喬さんは「町内に約二百人の体の不自由な人がいます。今年は昨年の二倍の参加者がありました。来年からはもっと多くの人が参加して、みんなでスポーツを楽しみ、ストレスを解消したい」と話していました。

議長に箕武司氏

初の町議会臨時会

新議員による初の町議会は、五月二日に役場議場で開かれ、正副議長、常任委員、各種特別委員の選任等、人事の構成を行ないました。

投票の結果、議長に箕武司議員、副議長に望月好勤議員が選ばれました。また、常任委員、各種特別委員は次のとおりです。

〔総務委員会〕 (敬称略)		〔山砂利対策特別委員会〕	
委員長 桐山良雄	委員 久保田巖	委員長 望月好勤	委員 佐野喜平
副委員長 望月亀蔵	委員 久保田巖	副委員長 望月亀蔵	委員 若月正敏
委員 法月寿作	委員 久保田巖	委員 望月好勤	委員 若月正敏
委員 若月正敏	委員 久保田巖	委員 望月好勤	委員 若月正敏
〔建設委員会〕		〔富士川富沢線対策特別委員会〕	
委員長 花田宗司	委員 久保田巖	委員長 法月寿作	委員 若月正敏
副委員長 高岡太郎	委員 久保田巖	副委員長 花田宗司	委員 若月正敏
委員 渡辺安松	委員 久保田巖	委員 高岡太郎	委員 若月正敏
委員 坪内伸浩	委員 久保田巖	委員 桐山良雄	委員 若月正敏
〔厚生委員会〕		〔二小・二中建設特別委員会〕	
委員長 佐野喜平	委員 久保田巖	委員長 市川政男	委員 若月正敏
副委員長 太田義雄	委員 久保田巖	副委員長 若月正敏	委員 若月正敏
委員 望月好勤	委員 久保田巖		
委員 久保田巖	委員 久保田巖		



新議員による初の町議会で挨拶する中川町長

委員 法月寿作 高岡太郎
桐山良雄 望月好勤
望月亀蔵 若槻陽通

●監査委員に太田議員
議員を代表する監査委員として中川町長は、太田義雄議員を選任し議会の同意を得ました。
なお、知識経験者を代表する監査委員は石川均氏(鑑下町)です。

国保委員決まる

国民健康保険の円滑な運営を図

るため、次のかたが運営協議会委員に委嘱されました。

◎被保険者を代表する委員
望月寛治(旭町) 渡辺久雄(新町) 太田秋房(小山) 錦織常雄(南町)

◎保険医、薬剤師を代表する委員
秀村敏朗(鑑下町) 宮沢孝(本通一) 立花好(旭町) 秋庭正和(本通四)

◎公益を代表する委員
久保田巖(上町) 望月好勤(大北町) 望月亀蔵(東町二) 佐野喜平(新町四十九)

固定資産評価審査委員に
池上憲、雨宮周司氏が再選
町の固定資産評価審査委員は三

太田弥作さんに

感謝状を贈呈

太田弥作氏(本通一)は、納税貯蓄組合設立の昭和二十七年から今年の三月まで、実に二十三年間本通一区の納税貯蓄組合長、および納税委員として、常に地区の納税思想の高揚に献身し、清水地方税務推進協議会や清庵納税貯蓄連合会等の表彰を受けていました。
この労をねぎらって中川町長は四月三十日に町としては異例の感謝状と記念品を同氏に贈呈し、感謝の意を表しました。



太田弥作さんに感謝状贈呈

人で構成していますが、池上憲、雨宮周司氏の二人が任期満了になったため中川町長は、両氏の再選案を議会に提出、承認されました

郡町村会長に

富士川町長が就任

庵原郡町村会議は、三町の町長助役ら関係者が集まって、五月十日、浦原町役場で行なわれました。
三町の行政事務連絡、および補助団体の育成を主な事業としている同会は、四十九年度の決算を認定した後、富士川町長の中川国兵氏を新しい町村会長に決めました。
なお、会長の任期は二年で、事務局は当町におかれます。

今年は自主的な学習で

まきの木大学が開講

社会教育の目玉である六十歳以上のお年寄りの「まきの木教室」は、今年から「まきの木大学」と名称を変えて、五月十五日、老人福祉センターで開講式を開き、一年間学んで行くことになりました。開講以来六年目を迎えた今年は年々受講生が多くなってきて大学生百五十四人という大世帯になりお年寄りの間では大変な好評を受けています。

今年からは「まきの木大学が楽しみ」とのひとこととなり、毎年参加している老人も多くみられます。

今年から「生きがいや人間づくりを自分たちで学び進めて行こう」との新しい趣向から名称をまきの木「大学」に改めています。これは、今までのクラブ活動中心方式から、高齢者のための副読本「福寿草」(社会教育普及会編)を取り入れて、月一回の教育講座を開き、単なる仲間づくりや趣味の場から脱皮した自主的な学習を多く学んで行こうという意欲の表われです。



老人ワルツをうたって開講したまきの木大学

一方、ハイキング、盆栽、詩吟など七つのクラブ活動も今までどおり進めています。
今年の平均年齢は六十九歳。高齢者は昨年も学級生として参加していた、上町の齊藤もとさん八十五歳と新町の浦田完策さん八十二歳です。

話し合いの中から学ぶ

―青年学級も開講―

今年度の青年学級は、五月二十八日夜、老人福祉センターで開講式が開かれ、一年間のスタートを切っています。

“青年期にむかえる問題を話し合いの中から求め、自主性の確立をつかむ”というのを主な目的にして、月二回講師を囲んだ座談会を開き、一年間、一定のテーマを決めて話し合い、考え合って、若人の人間関係や社会に対処できる姿勢を養っていきます。

また、ハイキング、研修旅行などのレクリエーションのほか、今年はお茶の作法を月二回つつ盛り込んで特別に勉強します。

主婦も学習を

ふよう教室開講

余暇を生みだし、趣味と教養を豊かに育て日常生活を明るく健康なものにしよう―と今年度のふよう教室は大正、昭和生まれの主婦を対象に五月十六日、老人福祉センターで開講されました。ふよう教室は、すでに一昔の歴史が生まれるほどに継続発展し、町民の婦人層の中に定着しています。

学習生も百二十八人と好評。今年も、フラワーデザイン、手芸編物、短歌、茶道、デッサンの五つのクラブに分かれ、それぞれ好きなクラブを選択。楽しみながら自己の技術を向上させるため、一年間学習して行きます。

子どものよきアドバイザーに

家庭教育学級もスタート

我が子のよきアドバイザーになるには、まず母親が自ら勉強しな

ければ―という目的で今年、小学校の児童をもつ母親を対象に家庭教育学級が開講されました。現代に生きる我が子を健全に育てあげていくためには、現実と将来の展望をふまえた新しい教育理念がなければなりません。

郷土の自然歴史を研究

少年ふるさと教室が開講

郷土の自然や歴史を探究し、青少年に興味や関心をもち、今年度から新しく開講した「富士川町少年少女ふるさと教室」の開講式が五月十七日、老人福祉センターで開かれました。

この教室は全国に先がけて、町教育委員会が県の助成を受けて開講したもので、ふるさと教室には、郷土研究教室と科学教室があり、それぞれの学級に第一、第二小学校の五、六年生六十四人が参加しています。小学校の上位生にもなる、学校の勉強のほかいろいろな塾通い。また、マンガやテレビと戸外に出て自然を観察する機会が薄れがちです。

この教室は、自然観察、あるいは郷土の研究に多くの素材のある我町「ふるさと」に目を向けさせている、学校教育では得られない伸び伸びとした教室です。

そこで、日本社会教育普及会が発行している「親子の心を結ぶ小学生と家庭」のテキストをもとに、年間十回の学習会を通じて、学級生九十五人と講師を招いた話し合いの中から、理想的なよい母親を目指して勉強します。

テーマは、あくまで郷土の中に根ざした活動。また、興味のある自然、科学、伝統を教師と共に学ぶという点に重視しています。
科学教室では、富士川河口の水鳥や迷鳥、山間部の野鳥。野山の草木などの植物や昆虫。富士川地質や気象。天体観測など、実際にふるさとの野山に出かけて目と手で観察する。
郷土研究教室では、土器の作成や石器づくり。富士川町民俗資料館、登呂遺跡の見学。伝説の紙芝居づくり、郷土の武将や昔の交通などを調査し、ときには遊びも取り入れて研究します。
それぞれの教室は、月一回土曜日から日曜日に開かれ、指導は郷土研究教室が第一小学校の八木先生と第二小学校の岡田先生。科学教室は浦原西小学校の江口先生があたります。

光化学スモッグが発生したら 屋外になるべくでない

今年も光化学スモッグによる大

気汚染で注意報や警報がひんぱんに発令される、喜ばしくないシ―ズンになってきました。

県はこの対策に、地域を各ブロック別に分けてオキシダント測定機による大気汚染濃度を測定し一定の濃度基準を上まわったとき県民に注意を呼びかけます。

町では、蒲原町に設置してある同測定機が〇・一三PPM以上の数値を記録し、気象条件が相当時間この濃度を維持、または上昇すると判断したとき注意報、あるいは警報を発令します。

町民のみならず燃料消費協力工場には、次の方法でお知らせします。

▼小中学校、幼、保育園には電話で連絡する。

▼無線放送を通じて一般に周知する。

▼緊急時協力工場には、燃料使用量を二十割から四十割の削減を要請する。

(県ではテレビ、ラジオを通じて

一般に広報します)

SBSテレビ (月～金) 11時40分

(土) 11時56分

(日) 11時56分

SBSラジオ (月～土) 10時57分

(日) 10時23分

SUTテレビ (月～土) 10時55分

(日) 11時55分

NHKテレビ (月～日) 11時55分

NHKラジオ (月～日) 11時55分

光化学スモッグは、光の化学反応で生ずるスモッグで、スモッグとは煙と霧が結びついてできた言葉です。

自動車の排気ガス、工場のばい煙などに含まれている窒素酸化物炭化水素などが太陽光線の紫外線のもとで化学反応を起こし、その二次的産物である光化学オキシダントを作ると言われています。

このオキシダントは、オゾンを主体としたスモッグを形成して目を刺激し、クシャミ、涙を誘発したり、呼吸困難を起こしたりします。また、植物の葉を白く枯らしたり、ゴムの損傷を早めたりします。

す。

この光化学オキシダントが発生しているときは、視程障害を起こすといわれているので、日中の視程が八メートル以下の場合にはオキシダントの高濃度が現われやすい。また、朝方は視程が悪いので、朝の視程が四メートル以下と悪く、天気がよくなって風の弱い日は発生しやすくなると言えます。

日本気象協会が光化学オキシダント予測を五月一日から行なう

昭和四十七年五月三十一日から悪臭防止法が施行され、当時の場合第四次指定として、今年の四月から法の規制を受けています。

悪臭防止法地域に指定される

規制される地域は町内全域で、県の規程のE地域規制です。このE地域規制は、窒素化合物に中庸で硫酸化合物にきびしい基準値になっています。

規制される物質と主な発生源は次の表のとおりです。

規制物質	主 要 発 生 源
アンモニア	畜産農業、鶏ふん乾燥場、複合肥料製造業、魚腸骨処理場、フェザー処理場、ごみ処理場、し尿処理場、下水処理場
メチルメルカプタン	クラフトパルプ製造業、魚腸骨処理場、ごみ処理場、し尿処理場、下水処理場
硫化水素	畜産農業、クラフトパルプ製造業、魚腸骨処理場、フェザー処理場、ごみ処理場、し尿処理場、下水処理場
硫化メチル	クラフトパルプ製造業、魚腸骨処理場、ごみ処理場、し尿処理場、下水処理場

いますので、朝方から視程が悪く天気のよい日はテレビ、ラジオに注意してください。

注意すること

今年度は、五月一日から九月三十日までの間、光化学スモッグ監視体制にはいつていますので、注意報や警報が発令された場合は、次のことに注意してください。

①屋外にはなるべくでない

②屋外での運動はさける

③不要な自動車の運転はなるべくしない。

④もし、目やのどに刺激を感じたときは洗眼やうがいをしてください。症状によっては医療機関の診療をうけてください。

※これらの異常を感じたら役場産業公害課へ連絡してください。

一滴の水でも大切に 水道は独立採算制です

菌消毒をして貯水池にたくわえます。

この水は、毎月水質検査をうけ安心して飲めるようにして、みなさんの家庭に届けるために、みなさんが寝ているあいだも懸命な管理、作業が続けられています。

水道財政のしくみ

水道会計は、町の一般会計とは別に公営企業特別会計といって、水道料金収入だけでまかない、町の税金は使っていません。

水道の新設や拡張、改良工事にはばく大なお金がかかります。これらは、ほとんどが国からの借入金で、各家庭から集められた水道料金収入の中から、毎年借金を返し、利息を払いながら事業を運営しています。

当町の水道事業も新設以来一億七百万円を借入しています。このほか、水道の営業費用には人件費動力費、薬品費、修繕費などから諸材料の購入まで、日常の運営管理に必要な経費もかさむ一方で

これからの水道事業

昭和四十四年東名高速道路の開通で岩瀬にサービシアができて、この水を確保するとともに吉津川上流に水源を求め、多額な工事費を投入して第一期の拡張工事を行ないました。

水道料金のあり方

料金の決め方については、政府の指導や法律で基本を示しています。

営企業でありますから、給水原価を償い、生産と経営のできる料金でなければなりません(独立採算制度)

この事業の運営は公営企業法に基づいていますが、その法の中で水道料金は公正妥当なもので原価を基礎として事業の運営を確保できること、という規定があります。原価を償い、損益ゼロでは経営の継続はできません。利益を蓄積して施



水道管の破裂を修繕する職員

利用しよう!

中小企業

退職金制度

中小企業退職金共済制度とは退職金制度をもつことが困難な中小企業に、国の援助で大企業と同じような退職金を支払うことができるようにすることを目的としています。

この制度は、昭和三十四年に国の中小企業対策の一環として制定された「中小企業退職金共済法」に基づき設けられています。これによって、中小企業の従業員の福祉の増進と雇用の安定をはかり、ひいては中小企業の振興と発展に役立てることをねらいとするものです。

常用従業員が一人以上三百人以下の中小企業者で、ご希望のかたは中部労政事務所か町商工会へ問合せてください。

「たばこ」は 町内で買いましょう

たばこ二十本で十六円が富士川町の税収入になります。四十九年度では、二千六百万円がたばこ消費税として収入になりました。したがって、たばこを買うときは町内で買ってください。

青年の船

参加者を募集

県青年団連絡協議会および県教育委員会は、勤労青年を対象に国際的な視野を拡めさせようと「青年の船」による海外派遣を予定しています。希望者は申込みください。

参加資格 地域、職場で青年活動をしている勤労青年で、青年団や教育委員会、または関係団体(勤務先)などから推せんされた青年。なお、年齢は満十八歳以上二十八歳未満であること。

申込期間 昭和五十年六月一日から六月三十日までに町教育委員会へ

参加費 十六万四千円

行先 清水港(マニラ)清水港

渡航期間 昭和五十年十二月二十七日から昭和五十一年一月十八日まで。

にせ局員に注意

最近町内で、郵便局員を装って表札を強引に、しかも粗雑品を高値で売り歩く者がありますが、これは郵便局員とは何の関係もありませんので、購入するときは十分気をつけてください。(富士川郵便局)

食べすぎは難産のもと

よい赤ちゃんを産むために

人の生活はその時代とともに変えてよいでしょう。

このような時代に、ただでさえ食欲の旺盛な妊婦が、大きくて丈夫な赤ちゃんが育って欲しいとばかり（特に初産婦）一生懸命栄養を摂ることに努力すれば、カロリーの摂り過ぎになることは当然です。そのうえ、主婦の家事は昔ほどエネルギーを消耗しなくなり、したがって運動不足になっていきます。その結果は体重増加による肥満体となって、糖尿病や妊娠中毒症などを合併しやすく、同時に赤ちゃんも必要以上に発育して、大き過ぎる赤ちゃんが育つことになり（巨大肥満児）、これがお産のときに大変なトラブルのもとになる一因なのです。

大切なことです。大き過ぎるということはなかなかお産にならず、また、お産になっても進行が悪くて、いわゆる難産となって母児共にいろいろの障害を残すことが多いからです。勿論、難産の原因は専門的にいろいろありますが、先ず適当な大きさの赤ちゃんであることが第一です。赤ちゃんの理想的な体重は、平均三千ヶ前後がよいところ

偏食しないで運動をすること

しかし、栄養低下のために赤ちゃんがみんな未熟児ばかりであったかという、決してそうではなかったのです。そればかりでなく今日の成人病といわれる多くの病

赤ちゃんの体重は三千ヶ前後がよい

と、今日今日の食生活はどうでしょう、か、いたるところに、ありとあらゆる食品が豊富に氾濫し、日常欲しい物は何でも食べることが出来ます。よほどの事情でもない限り栄養失調と思われる人はいません。したがって、毎日の食生活は十分に満ち足りていると考

それならばどうしたらよいのかそれは決してむずかしいことではありません。「食べ過ぎない」ということです。妊婦だからといって特に二人分食べる必要も、特別の料理を作る必要もありません。現代では、栄養失調などとても考えられませんが、ただ人間にはどうしても必要な栄養素というものがあります。それはたん白質、脂質、糖質（三大栄養素）とビタ

労働の情報は
テレホンサービスで

県では、みなさんの知りたい労働情報（例えば春季賃上、夏季・年末一時金速報、各種行事催物）を、天気予報方式によるテレホンサービスとして実施しています。

また、従来実施している労働相談については、専用の電話を設置していますので、お気軽に静岡労働事務所へお電話ください。

◎テレホンサービス情報は
（西）五五—一二四九
◎労働相談は
（西）五二—九一四四

善意銀行寄託

（50年・2月～5月）

五万円	渡辺勝	新町四十九
三万円	齊藤博	本通四
一万一千三百五十円		
二千六百九十円	白寿会	旭町
二千円	天野正	南町
一千五百円	和室三郎	茨城県
八百円	木楽会	木島
雑布百五十枚	幸和会	幸町
六十七枚	福寿会	本通一
十一枚	白寿会	宮町

館長賞に

宮下利子ちゃん

親子約百人の参加で「親子の写生大会」が五月十八日、役場と第一小学校のまわりを会場に開かれました。この結果、次の子どもたちが入賞しました。

〔館長賞〕宮下利子（四年）
〔運営委員長賞〕佐藤和彦（五年）
〔特選〕小永井えみ（幼児）田辺達朗（一年）若月俊一（二年）鈴木みつひろ（三年）清水偉章（五年）望月康弘（六年）
〔入選〕長島佳世 伊藤明（幼児）関原勉 鈴木ひろし（一年）松本浩一 望月のぶひろ（二年）田辺博章 中谷和美（三年）小池和美 関原正枝（三年）関原由枝（四年）坪内清 八木孝 齊藤克弥（五年）

望月泰朗 原田幸男（六年）
県政に対する要望は
県政モニターに相談を
昭和五十年年度の県政モニターが
決まりました。

モニターの仕事は、県政に対する意見、要望、批判など地域住民の身近な声を県政に反映させるのが主な目的です。
県下で約二百五十人が委嘱されていて、今年の四月一日から来年の三月三十一日までの任期になっています。当時のモニターは次の二人です。
望月 貢（本通一）自営業
佐野雅代（八幡町）会社員

町民の声

心ない人の仕業

吉津の田圃へ、私は孫が生まれる度に記念の木を植えて、その成長を楽しみにしていた。最初の孫のときは白い花の咲く夾竹桃を、次の孫のときは銀杏の木を。銀杏は富士宮の浅間さんの植木市で手に入れたものだった。夾竹桃は、孫が東京で幼稚園へ行く様になったので、ぐんと伸びて毎年白い花を咲かせているが、銀杏の方はなかなか背丈が伸びないので、肥料をやったり敷薬をしいたり手を掛けてい

（新町 渡辺清）

消費モニターに

植松美江さん

消費モニターは、県が県民の消

費生活の安定向上をはかり、消費者問題についての意見、要望および情報などを迅速、かつ的確に把握するため設けている制度で、当町では植松美江さん（相生町・主婦）が今年一年間モニターとして担当してください。

モニターは不当表示、不良食品欠陥商品、小売価格など地区の動向を県に情報提供したり、県が実施する各種の調査に協力します。消費者のみなさんで、商品の価格や品物など疑問がありましたらモニターまでご連絡ください。

TEL八一一六〇七

よい環境つくろう 守ろう 伝えよう

環境週間

6月5日～6月11日

心配ごとは気軽に 総合相談所を ご利用ください

6月20日（金）9時30分～3時
老人福祉センター

ことしの目標

“ものを大切にしましょう。”

〔今月のテーマ〕

◎紙を大切に

古新聞・古雑誌・包装紙などはほとんど再生可能です。燃やしたりしないで、まとめてクズ屋さんに出しましょう。

戸籍の窓

50・4・20～5・19 (敬称略)

おめでた

区名 出生児 保護者 続柄

木島	望月あい子	康男	長女
舟山町	常盤 岳大	正勝	長男
旭町	早川 澄 通之	二男	
川坂	小久保さや香	和昭	長女
〃	井上 伸也	泰伸	長男
〃	大石 和良	利征	二男
新町	伊東 洋子	伸一	長女
宮町	加藤 綾 修司	〃	
小池	落合 由実	秀年	二女
〃	山島さおり	重治	〃

よろこび

区名 新 郎 新 婦 旧 姓

相生町	望月 康博	隆世	稲葉
〃	猪澤 太郎	早苗	尾川
舟山町	望月 正明	公子	望月
坂下	小笠原 孝	稚香子	田辺
旭町	齊藤 忠治	恵子	太田
堺町	齊藤 明みつ	江石	切山
四十九	望月 安吉	一子	大屋
南町	佐野 仁昭	玲子	清
〃	鈴木 久男	直子	清水

おしあわせに

区名 氏 名 転出先

相生町	天野けい子	富士市
堺町	小永井教子	蒲原町
〃	田中満里子	川崎市
川坂	簗 千恵子	富士市
宮町	若松 逸子	清水市
〃	松下 隆子	川崎市
〃	松井 和子	富士市
本通四	辻 純代	〃
東町一	山崎 孝子	〃
東町二	村瀬由起子	芝川町

かなしみ

区名 氏 名 年齢

小山	齊藤 ぎく	九二
〃	常盤 平次	六六
相生町	天野 ヨ子	七一
上町	太田 共次	六九
坂下	滝 ふじ	八二
旭町	折山寅次郎	七六
本通三	金指 さち	六九
南町	望月 文吾	六〇
富士見町	石川 倍雄	五四
大北町	風岡 弘三	八三
儘下町	岡本 秀明	二四
〃	小川 光得	六〇

大楽窪に公営住宅60戸

四カ年事業1億1千万で完成する

四十六年度から四十九年度までの四カ年計画で建設された、中之郷地先の大楽窪公営住宅六十戸が完成、現在三戸空屋になっているほか、五十七世帯が居住しています。

この住宅は、プレハブ簡易耐火二階建てで、一棟に五世帯が入居しています。

一戸当りの住宅延べ面積は、第

一種が四六・一八平方メートル。第二種が三九・五平方メートルのそれぞれ二DKで、第二種四十戸分は福祉住宅になっています。

総事業費は約一億一千万で、このうち簡易保険積立還元融資金が二千八十万円融資されています。

また、第一小学校うら山（通称水道山）を緑のある町民いこいの場に造成しました。この第一公園



費には四百万円の工事費がかかっていますが、このうちの百万円も簡易保険積立融資されたもので

す。



右・第一小学校うら山の第一公園
上・完成した大楽窪公営住宅



南町 小沢吼素人

今日用なき言葉静かに四月盡
地虫出て一所不住の道ありぬ

南町 法月 幸子

天降りたる神の座の石露の薫
鶯やかつぎしなはず竿の先

大北町 大野 たま

花おぼろ片目片足ともに病み
さからわぬ心康しよ花すみれ

南町 影島 智子

子を祝す源氏絵巻の初裕
夏帯を解き身の張りをさらに捨つ

清水町 宇佐美裕子

梅一輪上棟の計集みけり
つつがなく大事を修し青き踏む

南町 宇佐美幸子

ぶかぶかの校服走る入学児
万緑や腕に飛び付く子の力

南町 木伏 八子

陽炎や園児の影を一つ画に
花冷へや孤独の保母の後翳

宮町 増川 冬木

〔小田原道了さん参詣〕
底浅き御手洗の折万緑す

大雄山万の緑に雲起こる

蟬一声鳴き山冷ゆる緑かな

小涌谷の噴煙額に茶緑す

千丈の滝を擁き込み茶緑す

(文協理事 増井冬木記)